



Ver. 2.1

Synspective Brand Identity Guidelines

2025年

熊崎 勝彦

管理部 PRユニット

PRマネージャー



01 ミッション

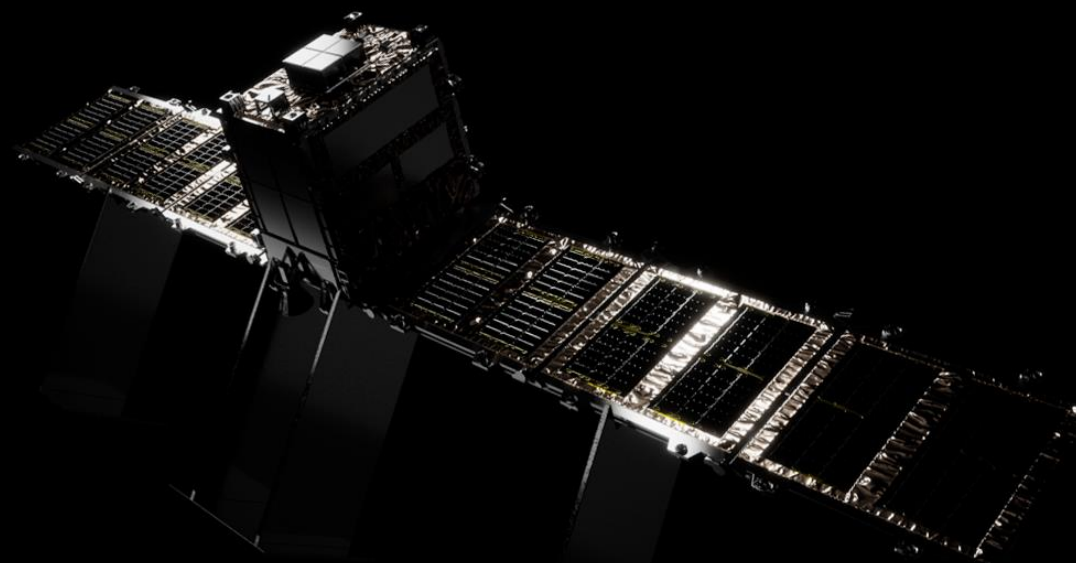
02 ブランド属性

03 カラーガイド

04 ロゴマーク・ロゴタイプ

05 フォント

06 画像・グラフィック



はじめに

本書は、株式会社Synspectiveのブランドガイドラインです。

当社のロゴマーク、ロゴタイプ、その他当社ブランドイメージの統一を図るための基本ルールを定めたものです。

本書に定める範囲内で、ガイドラインを遵守する場合に限り、当社の許諾を得ることなく、無償で 사용할 ことができます。使用者は、当社のロゴの使用にあたり、ロゴ使用ルール及びガイドラインに同意したものと見なします。また、当社のロゴに関する一切の権利は、すべて当社に帰属します。

本ガイドラインは、当社が必要と判断する場合、あらかじめ通知することなく、いつでも、ガイドラインを変更 することができます。変更後のガイドラインは、当社WEBサイトに掲示された時点からその効力を生じるものとし、使用者は、変更後も当社ロゴを使用し続けることにより、変更後のガイドラインに同意したものとみなします。

01 ミッション

次世代の人々が地球を理解し、レジリエントな未来を実現するための新たなインフラをつくる

人々が安心して暮らし、生活の質を向上させ、それが未来の世代にまで続いていくことは、私たち人類の共通の願いです。しかし現在、その願いは災害や紛争により脅かされています。これまで築いてきたライフラインが破壊され、多くの命が失われています。さらに、環境問題や資源の限界が、将来の持続可能な発展を阻む要因になっています。私たちは、次世代のために、地球の環境資産や自浄能力の容量を考えた、無理のない経済発展が求められていると考えています。

こうした地球規模のリスクの解決には、客観的で公平なデータに基づいた現状把握、膨大なデータ解析によるリスク評価、そして科学的かつ集合協力的、そして協力的な対策の策定が求められ、この一連のサイクルを支える新たなインフラの構築が必要です。

そして、地球全体のデータ分析を行うには、データの広域性、均一性、信頼性、公正性が求められ、リアルタイムに近い情報が理想です。これを実現できるのが、地球を効率的に俯瞰できる人工衛星のコンステレーションと、そこから得られる膨大なデータを分析するシステムです。特にSAR衛星は天候などの影響を受けずに安定して観測できるため、重要な役割を果たします。

多くの公共機関や研究機関もこの課題に取り組んでいますが、複雑なプロセスやさまざまな調整が必要なため、スピードと拡張性を持って事業を進められる企業体がこれらをリードする強みを発揮できると考えています。そして、その強みを活かすことで公共機関や研究機関、そして多くの企業との連携も期待できます。

こうした背景を踏まえ、Synspectiveは、SAR衛星を起点とし、「次世代の人々が地球を理解し、レジリエントな未来を実現するための新たなインフラをつくる」をミッションとして掲げました。



いつ世界のどこで災害が起きても、発災直後に広域データを取得し、迅速な救命・救出活動の開始と早期復興計画の策定を推進する



全世界の紛争の状況やロジスティクスの途絶状況を把握し、世界平和と安定したライフラインの提供に貢献する



地球規模での森林分布や洋上の風況を定量的かつ継続的に把握し、カーボンクレジット取引や再生可能エネルギー導入を促進する

02 ブランド属性

10 Brand Attributes

ここでは私たちのブランドイメージを定義することを目的としています。ブランドの属性として、見た目、感触、トーンなどについて10個の定義をあげています。



03 カラーガイド

ブランドのメインカラーは白と黒で表現します。

White (Guardian White)

#F5F5F5

(RGB: 245, 245, 245)

*for background

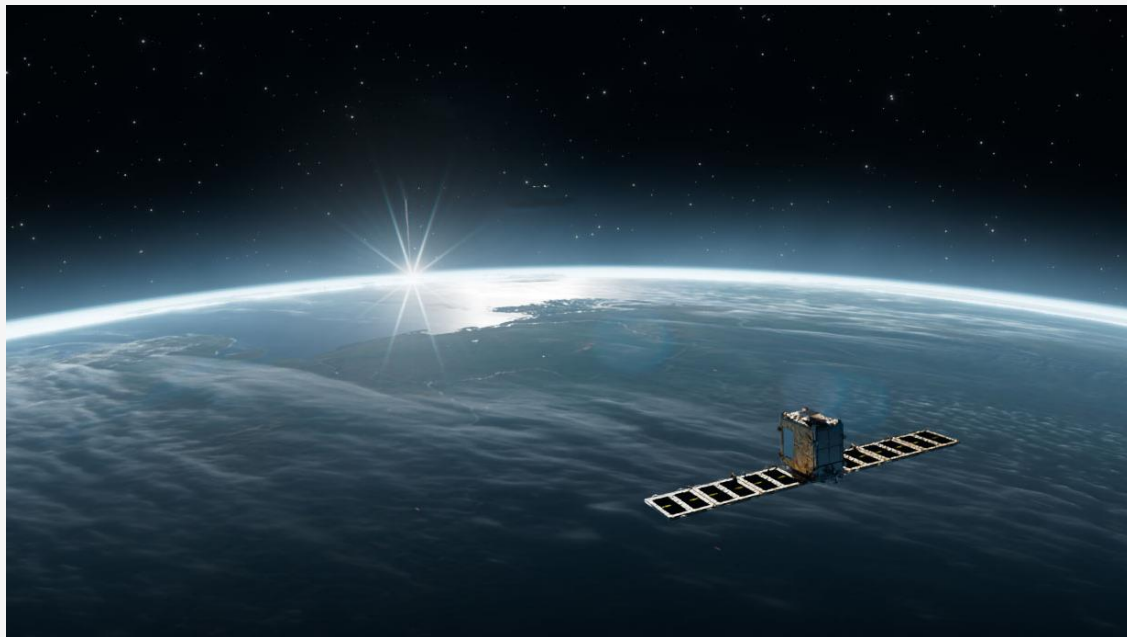
Black (Brain Black)

#0A0A14

(RGB: 10, 10, 20)

*for framing contents

アテンションカラーはキービジュアルである地球とStriXの色味をベースに表現しています。多様はせずあくまでも全体の補助として利用します。



Dark mode

Sky blue
(Light Blue)Ocean blue
(Dark blue)

Forest green



Sand yellow



Soil Brown

Light mode



04 ログマーク・ログタイプ

コンセプト

2つの絡み合う「S」の形を特徴とするSynspectiveのロゴは、Synspective for the Sustainabilityという当社のコミットメントを象徴しています。

これまでのロゴの形状を引き継ぎ、球体（地球）を包み込むように調和的に配置されており、グローバルなつながりを持つ意味を持たせ、「S」の曲線は、動き、革新、そしてSynspectiveのミッションである新たなインフラを創造するダイナミックなミッションを表現しています。

このデザインは、地球のシステムを包括するビジョンを反映し、SARによる地球観測とデータによる解析そしてソリューションを統合して、レジリエントで持続可能な世界を創出する当社の姿勢を強調しています。



ロゴ基本カラーバランス

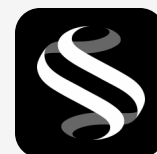


White : #FFFFFF (RGB : 255, 255, 255)

Black : #000000 (RGB : 0, 0, 0)

Gray : #999999 (RGB : 153, 153, 153)

アイコン



05 フォント

Font: Avenir

Usage: English text for WEB and promotion materials

Synspective goes to the next level.

The wisdom of owls

Synspective provides SAR data and remote monitoring services to government agencies and companies worldwide.

StriX is a small, innovative, and low-cost Synthetic Aperture Radar (SAR) satellite that was jointly developed by Synspective, the University of Tokyo, the Tokyo Institute of Technology, and the Japan Aerospace Exploration Agency (JAXA). The technology originated from the Impulsing Paradigm Change through Disruptive Technologies (ImPACT) Program, a Japanese government-led R&D initiative.

フォント：Noto Sans JP_Regular

利用ケース: WEBサイトやマーケティング素材などの日本語文章に利用

シンスペクティブは
次なるステージへ。

小型SAR衛星の軌道投入に成功

自社5機目の小型SAR衛星の軌道投入に成功し、試験のための通信が正常に機能し、制御可能であることを確認しました。

衛星の撮像方向の制約により単一方向で発生してしまう不可視領域（衛星の撮像方向・角度、と陸域の傾斜勾配の関係により発生）がありますが、今回の傾斜軌道と現在運用中の太陽同期軌道の組み合わせにより、東西南北の4方向からの撮像が可能となり、不可視領域を避ける撮像の組み合わせが選択できるようになります。

Font: Arial

Usage: English text for Presentation (when you use slide materials)

Synspective goes to the next level.

The wisdom of owls

Synspective provides SAR data and remote monitoring services to government agencies and companies worldwide.

StriX is a small, innovative, and low-cost Synthetic Aperture Radar (SAR) satellite that was jointly developed by Synspective, the University of Tokyo, the Tokyo Institute of Technology, and the Japan Aerospace Exploration Agency (JAXA). The technology originated from the Impulsing Paradigm Change through Disruptive Technologies (ImPACT) Program, a Japanese government-led R&D initiative.

フォント：メイリオ

利用ケース：プレゼンテーション等スライドを使用する場合

シンスペクティブは次なるステージへ。

小型SAR衛星の軌道投入に成功

自社5機目の小型SAR衛星の軌道投入に成功し、試験のための通信が正常に機能し、制御可能であることを確認しました。

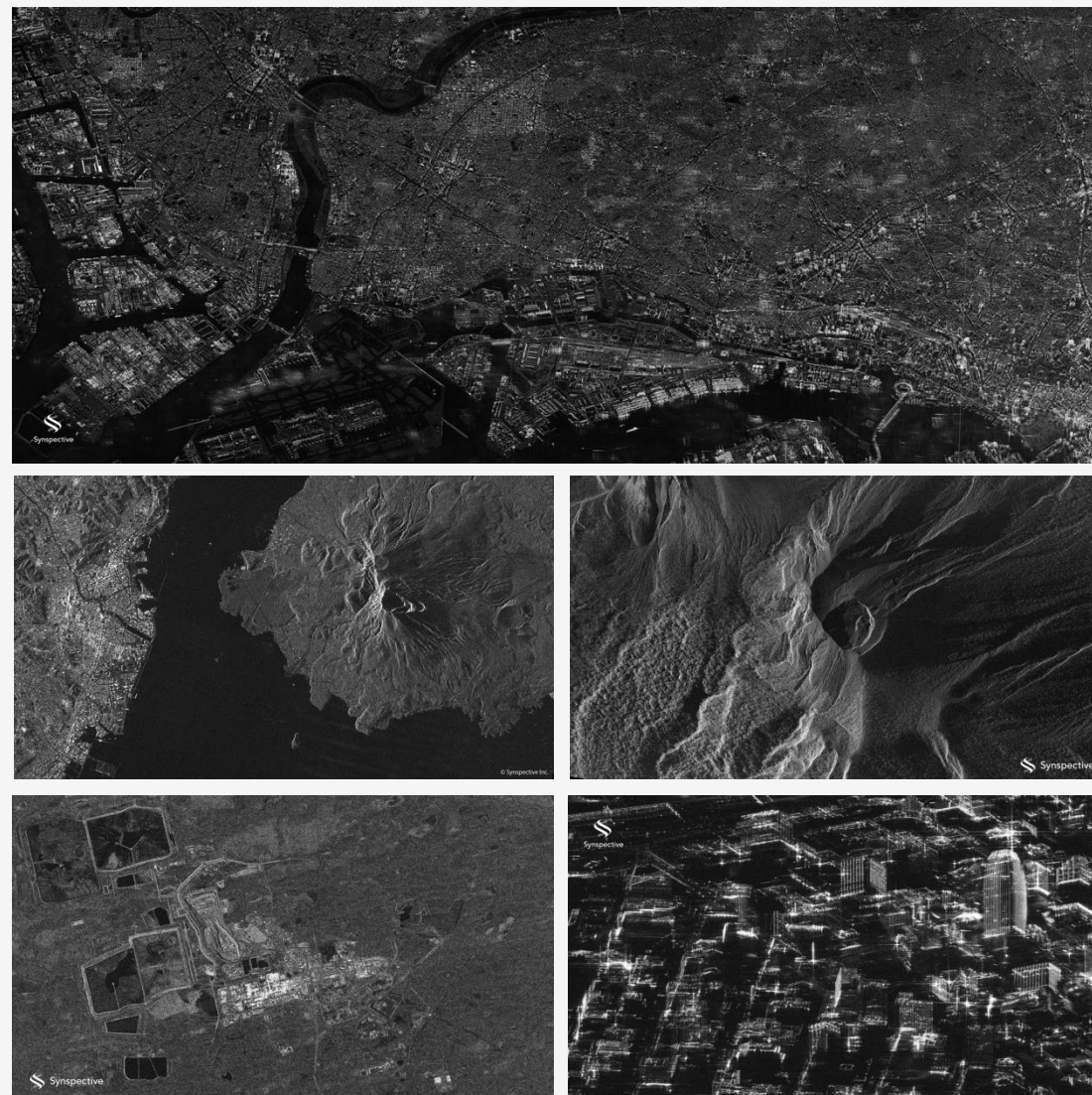
衛星の撮像方向の制約により単一方向で発生してしまう不可視領域（衛星の撮像方向・角度、と陸域の傾斜勾配の関係により発生）がありますが、今回の傾斜軌道と現在運用中の太陽同期軌道の組み合わせにより、東西南北の4方向からの撮像が可能となり、不可視領域を避ける撮像の組み合わせが選択できるようになります。

06 ビジュアライゼーション

SAR画像

当社では、マーケティング・PR・プロモーションなどブランド表現におけるSAR画像の標準的な表示はグレースケールとし、実際のSAR画像をベースとし、取得データの正確かつ客観的な表現を確保する必要があります。露出とコントラストの設定を最適化させるケースもありますが、データの解釈を誤らせたり歪めたりする可能性のあるカラーオーバーレイや調整は行いません。

また使用するSAR画像イメージには当社ロゴマークを貼付または、コピーライト（@ Synspective Inc.）を記載します。画像内にその記載がない場合は文中に出典元として当社SAR画像であることを明記します。



SAR画像へのロゴ・撮像情報表示

- ①ロゴは小さく表示する
- ②ロゴは四隅のいずれかに配置する
- ③背景とコントラストの高いところを選ぶ
- ④撮像情報はロゴの上下幅に合わせロゴの左右反対側に表示する
- ⑤背景が明るいため台座を置きたい場合は透明度80%の黒帯を配置する



画像、イラストの利用

写真、画像、イラストを選択する際には、不必要な装飾的要素を排除したビジュアルを優先します。デザインは、科学的、客観的、合理的な性質を反映し、Synspectiveの正確性と機能性へのこだわりに沿ったものでなければなりません。

イメージは、科学雑誌や百科事典に見られるような、クリーンで目的にかなった美学を想起させるものを優先し、機能性と明瞭性をサポートするカラーパレットを使用します。

視覚的要素は、正確性、知識、真実への献身を伝え、装飾よりも実用性と情報価値に焦点を当てるべきです。コンテンツの読みやすさと理解を深めるようなビジュアルを選択し、明確で実行可能な洞察を提供するというSynspectiveの使命を強化します。

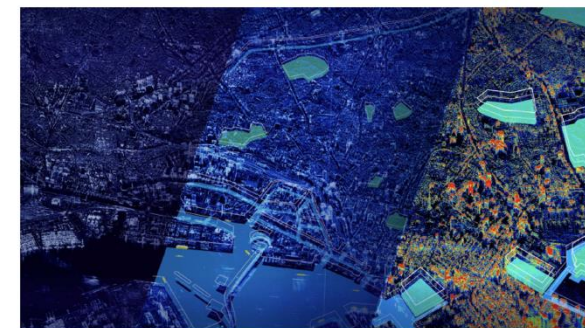
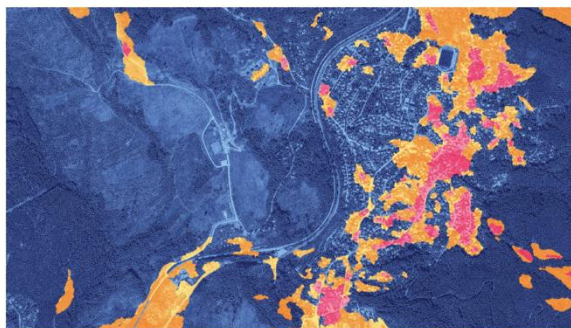
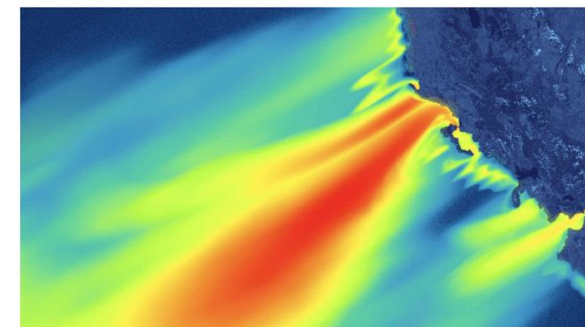
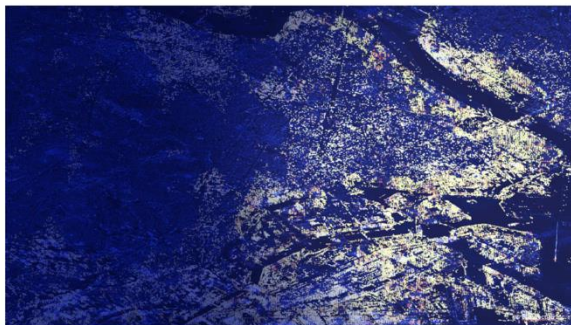


データビジュアライゼーション

地図、ダイアグラム、チャートでは、個人の恣意的な判断で色を選択することは避け、一貫性、明瞭性、直感的な認識を保證する国際的に認知されたカラーパレットを採用します。

選択した色は、カラーユニバーサルデザイン（CUD）、ColorBrewerなどの組織が定めたものや、科学および専門分野で広く受け入れられている規範など、グローバルスタンダードに準拠します。

正確であるだけでなく、多様なオーディエンスにも容易に解釈できる可視化を作成することを目的とし、色使いの一貫性は、提示される情報の信頼性と科学的客観性を維持するのに役立ち、Synspectiveのデータ主導の洞察と合理的なコミュニケーションへの取り組みを強化します。





Synspective